

インドネシア共和国大使館  
更新整備にかかる設計者選定  
プロポーザル 審査結果

インドネシア共和国大使館  
平成 30 年 12 月

## 1 設計者選定の主旨及び目的

インドネシア共和国大使館は、1962年に敷地中央にオフィスが建設された後、1965年、1983年と増築を重ね、現在駐車場を含み6つの建物等からなっている。これらの建物等について2012年度に耐震診断を含む建物状況調査を実施したところ、1983年に建設された建物については耐震性に問題がないが、1962年、1965年に建設された建物は現行法における耐震性を有しておらず、早期の更新が求められる状況である。また、いずれの建物も劣化が激しく、全面的な改修が必要な状況である。

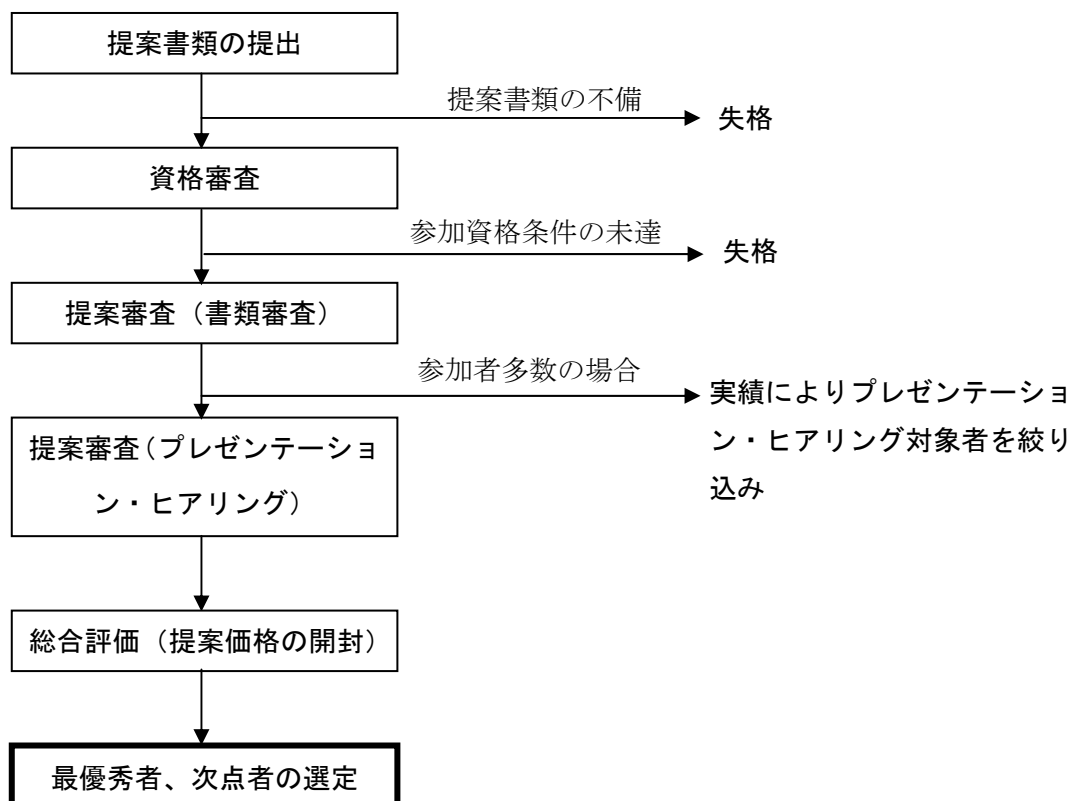
以上の状況から、インドネシア共和国大使館は、既存大使館庁舎を更新整備することとした。本プロポーザルは、インドネシア共和国大使館新庁舎の設計及び既存大使館庁舎の解体設計を実施するにあたり、豊富な実績と確かな技術力を持った設計者を選定するために実施するものである。

## 2 選定方法

本プロポーザルは公募型プロポーザル方式とし、インドネシア共和国大使館職員により構成する「インドネシア共和国大使館更新整備に係る設計者審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）において審査を行い、設計者を選定した。

## 3 審査手順

本プロポーザルにおける提案書類の審査は、以下のとおり行った。



#### 4 審査結果

2者から提案書類の提出を受け、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。

##### (1) 資格審査

提案様式2～5に関し、本プロポーザル実施要領4に示す参加資格要件を満たしているかどうかを確認し、いずれの参加者においても参加資格要件を満たしていることを確認した。

##### (2) 提案審査（書類審査）

提案評価点90点について、提案様式2～6に関し、審査基準に基づき評価を行った。採点結果を以下に示す。

評価項目	評価の視点	配点	参加者 A	参加者 B
企業体制	有資格者数を評価する。	20	13.00	14.00
	実績の種類、件数、受賞歴について評価する。			
実施体制	管理技術者の実務経験年数、過去10年の同種又は類似実績件数を評価する。	25	15.00	23.00
	各分野担当主任技術者の実務経験年数、過去10年の同種又は類似実績件数を評価する。			
実施方針	本業務の課題認識が明確であり、業務の円滑・確実な履行や発注者とのコミュニケーション方法について具体的に示されているか。	10	10.00	4.00
業務スケジュール	本業務の履行に関し、発注者との協議ポイントや各種業務の適切な工程が示されているか。			
設計主旨	以下の特定テーマに関し、評価する。 <u>特定テーマ①</u> ：設計コンセプト（デザインコンセプト）について、添付資料①を踏まえ、現状の問題点や発注者の期待に対する具体的な考え方が示されているか。 <u>特定テーマ②</u> ：整備手法、コストの考え方について、建替えや改修のメリット・デメリットやコストについて、具体的な考え方が示されているか。 <u>特定テーマ③</u> ：施設性能、近年の新技术等の考え方について、対象施設の用途や規模、求められる耐久性、室内環境等を踏まえた適切な設計目標等の考え方が示されているか。	45	40.20	35.80
計		100	78.20	76.80
提案評価点	※上記合計点の90%とする。	90	70.38	69.12

### (3) 総合評価

提案評価点決定後、様式7が封入された封筒を開封し、価格評価点を計算した。いずれの参加者も、業務委託費上限額と同額の49,000,000円（税抜き）の提案であった。

提案評価点と価格評価点の合計点を総合評価点とし、最も総合評価点の高い参加者Aを最優秀者、参加者Bを次点者として選定した。

評価項目	配点	参加者A	参加者B
提案評価点	90	70.38	69.12
価格評価点	10	10.00	10.00
総合評価点	100	80.38	79.12

## 5 審査講評

インドネシア共和国大使館は、本プロポーザルを踏まえ、インドネシア共和国大使館の更新整備にかかる設計者として、参加者Aである株式会社黒川紀章建築都市設計事務所を選定した。

本プロポーザルは非常に短期間での実施であったにも関わらず、2者から提案書類を受け付けることができ、また、素晴らしい提案を頂いたと認識している。参加頂いた株式会社黒川紀章建築都市設計事務所及び参加者Bには、多大な感謝を申し上げる。

性能評価点に関して、いずれの提案も、周辺環境や既存施設の現状を理解のうえ、適切な施設計画の提案がなされており、僅差であった。特に評価されたのは、それぞれ以下の点であった。

- ・ 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所の提案は、設計業務期間や概算工事費を踏まえた整備手法、緊密な発注者とのコミュニケーション、インドネシアの文化に配慮したファサードのデザイン、柔軟な運用に配慮されたパーティールームなどが評価された。
- ・ 参加者Bの提案は、実績に基づく施設計画や、環境配慮等施設性能に関する提案、インドネシアの伝統柄をモチーフとした外壁デザイン等が評価された。

価格評価点については、いずれも同額の提案であり配点と同じ10点満点となった。以上から、総合評価点において株式会社黒川紀章建築都市設計事務所が参加者Bを1.26点上回る80.38点となり、最優秀者として選定された。

インドネシア共和国大使館は、インドネシア共和国大使館の更新整備にかかる設計業務に関し、株式会社黒川紀章建築都市設計事務所に対し、信頼できる良好なパートナーとして、十分なコミュニケーションを通じ、今後の速やかな業務遂行と適切な技術提案とともに、安全性を確保した多くの人に親しまれる施設整備の実現に尽力頂くよう、期待するものである。